

高知県立のいち動物公園コレクションプラン（案）

資料 4

「のいち動物公園コレクションプラン」は、（公社）日本動物園水族館協会（JAZA）のコレクションプラン（JAZA Collection Plan（JCP））を基本として、本園の展示方式や気候別のゾーン分けなどの特色に合致し、これまでの飼育・繁殖状況に加えて、種の保存への貢献度や教育的・学術的価値などの視点も加味して動物を選定し、「最優先種」「優先種」「維持種」「検討種」「調整種」の5つのカテゴリーに分類して管理していくための計画である。

①最優先種	：	本園の特色に合致し且つ種の保存に貢献し、個体の確保と繁殖を最も優先する種（5種）
②優先種	：	本園の特色に合致し、適切な管理を行い計画的に繁殖を目指しながら飼育展示を継続する種（11種）
③維持種	：	本園の展示効果を高めるため飼育展示を維持する種（40種）
④検討種	：	本園の特色に合致しているが繁殖や個体の入手が難しく飼育展示の継続が厳しい種、及び今後新たに導入を目指す種（7種）
⑤調整種	：	個体群の維持が困難であったり動物福祉の面からも本園の特色に合致しない種（4種）

※記号説明

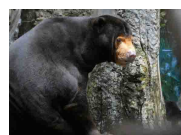
評価項目	飼育	○：飼育経験あり △：10年以上前、あるいは飼育歴が1年未満
	繁殖	◎：順調に繁殖 ○：繁殖経験あり △：10年以上前に繁殖 ×：繁殖経験なし
	IUCN RED LIST (絶滅の恐れのある野生動物リスト)	CR：絶滅危惧ⅠA類　ごく近い将来における野生での絶滅の可能性が極めて高い種 EN：絶滅危惧ⅠB類　近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種 VU：絶滅危惧Ⅱ類　絶滅の危険が増大している種 NT：準絶滅危惧　存続基盤が脆弱な種 LC：軽度懸念
	CITES (ワシントン条約)	Ⅰ：附属書Ⅰ掲載種　絶滅の恐れがあり、取引による影響を受ける種（商業目的の国際取引は禁止・輸出入双方の許可書が必要） Ⅱ：附属書Ⅱ掲載種　現在は必ずしも絶滅の恐れはないが取引を禁止しないと絶滅しそうな種（取引には輸出国の許可書が必要） Ⅲ：附属書Ⅲ掲載種　締約国が自国内の保護のため、他の締約国・地域の協力を必要とする種（指定国の輸出許可が必要）
	JCP (JAZA Collection Plan) JAZA 日本動物園水族館協会	管理種：展示種としての継続的確保のために個体情報の登録、及び各種情報の収集分析により個体群管理をする種 登録種：個識別に基づく管理ができ個体情報の登録により個体群動態を把握する必要がある種 維持種：展示種としての継続確保のために飼育繁殖状況を把握しておく種 調査種：海外からの入手経路、飼育繁殖技術の調査、情報収集を行う種

最優先種 5種

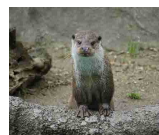
種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP	選定理由
ワオキツネザル	○	○	EN	I	維持種	開園時から本園のシンボルマークとして採用しており、必ず必要な種
マレーグマ	○	◎	VU	I	管理種	これまでの飼育繁殖の実績により本園の代表種となっており、必ず必要な種
ユーラシアカワウソ	○	○	NT	I	管理種	高知県はニホンカワウソが最後に確認された地であり保護の必要性について啓蒙活動も行っているため近似種として欠かせない種
フタユビナマケモノ	○	◎	LC	—	登録種	野性由来の個体を複数所有しており、本園が日本の繁殖基地となっているため必ず必要な種
セネガルショウノガン	○	○	LC	—	—	日本では本園だけが飼育、繁殖しており、世界的にも希少種であるため必ず必要な種



ワオキツネザル



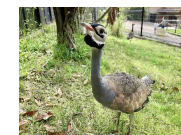
マレーグマ



ユーラシアカワウソ



フタユビナマケモノ



セネガルショウノガン

優先種 11種

種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP	選定理由
チンパンジー	○	○	EN	I	管理種	日本有数の広大な展示場があり、同種特有の複雄群展示が本園の特色に合致
シロテテナガザル	○	○	EN	I	管理種	日本有数の高さのタワーがあり、ファミリーでの生活様式が本園の特色に合致
ブチハイエナ	○	○	LC	—	管理種	過去、繁殖により日本最多展示数となったこともあり、且つ本園では希少な肉食獣であるため
ヤブイヌ	○	×	NT	I	登録種	ジャングルの多様性を伝えるためにイヌ科の動物が必要
スナドリネコ	△	×	VU	—	—	ジャングルの多様性を伝えるためにネコ科の動物が必要
ピントロング	○	◎	VU	III	—	東南アジアのジャングルに生息する哺乳類の代表種であるため
コツメカワウソ	○	△	VU	I	管理種	カワウソ3種の比較展示に必要
アメリカビーバー	○	◎	LC	—	登録種	高知県では小学2年生の国語の教科書の教材となっており、レクチャーの希望が多く生体が必要
ルーセットオオコウモリ	○	◎	LC	—	—	日本一、おそらく世界一の飼育個体数を誇るため
オニオオハシ	○	△	LC	II	登録種	中南米のジャングルに生息する鳥類の代表種であり展示効果が高い
アルマジロトカゲ	○	◎	LC	II	—	日本最大の飼育個体数であり繁殖も順調であるため



チンパンジー



シロテテナガザル



ブチハイエナ



ヤブイヌ



スナドリネコ



ピントロング



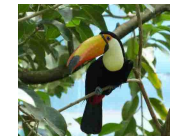
コツメカワウソ



アメリカビーバー



ルーセットオオコウモリ



オニオオハシ



アルマジロトカゲ

維持種 40種

種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP	種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP
オオカンガルー	○	○	—	—	登録種	メンフクロウ	○	△	LC	II	維持種
ベネットアカクビワラビー	○	◎	LC	—	維持種	アナホリフクロウ	○	○	LC	—	—
ミナミコアリクイ	○	○	LC	—	登録種	フンボルトペンギン	○	○	VU	I	管理種
マンドリル	○	○	LC	I	管理種	水鳥4種	○	○	LC	—	—
レッサーパンダ	○	○	LC	I	管理種	メガネカイマン	○	×	LC	II	—
ミーアキャット	○	○	LC	—	—	マングローブオオトカゲ	○	×	LC	II	—
キンカジュ	○	◎	LC	III	—	トッケイヤモリ	○	○	LC	II	—
カリフォルニアアシカ	○	○	LC	—	管理種	ミズガメ4種	○	×	—	II	—
アミメキリン	○	○	NT	II	管理種	リクガメ3種	○	○	—	II	—
グラントシマウマ	○	○	LC	—	—	ヘビ3種	○	×	LC	—	—
プレーリードッグ	○	○	LC	—	—	カエル2種	○	×	LC	—	—
ニホンリス	○	○	LC	—	—	パンサーカメレオン	○	○	LC	LC	—
ウサギ	○	○	LC	—	—	アジアアロワナ	○	×	EN	I	—
チリーフラミンゴ	○	△	NT	II	維持種	タンスイエイ	○	○	VU	—	—
ベニイロフラミンゴ	○	△	LC	—	維持種						

検討種 7種

種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP	種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP
インドオオコウモリ	○	△	LC	—	—	コモンマーモセット	△	△	EN	I	—
ツメナシカワウソ	○	△	NT	II	—	ワタボウシタマリン	△	×	VU	I	管理種
ノマウマ	○	—	—	—	—	ローンアンテロープ	×	×	LC	—	—
ハシビロコウ	○	×	VU	II	—						

調整種 4種

種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP	種名	飼育	繁殖	IUCN RED LIST	CIT ES	JCP
アカハナグマ	○	×	LC	—	—	ジェンツーペンギン	○	△	LC	—	登録種
カピバラ	○	×	LC	—	維持種						
エミュー	○	×	LC	—	—						